

第 106 回数学教育実践研究会

兼

第 23 回夏季セミナー

見せかけ（マニュアル墨守）？  
論理コミュニケーションどうなる？

レポート

平成 30 年 8 月 4 日 (土)  
北海道小樽桜陽高等学校

数実研会員 安田富久一

## 論理コミュニケーション：心配

穴埋め問題しかさせない、生徒の良いところを見つけて褒めて伸ばすことしかしない、そればかりの教育をしたためなのだろうか？

学生に問題を提示し解答を書かせると、式を羅列しただけの答案や、お呪い<sup>まじな</sup>のように数学用語を書いている答案が多い。論理コミュニケーション能力の低下が気にかかる。

### 【 実例 】

(1)  $x, y$  が実数のとき、 $(4 + 3i)x + (2 - 5i)y = 6 + 11i$  となる  $x, y$  を求めよ。

【 解答 】

$4 + 3i, 2 - 5i$  はともに実数なので、

$$4x + 2y = 6, 3x - 5y = 11 \quad \dots\dots\dots$$

《 えっ！ 実数？ 》

(2)  $z = 1 + i$  について、 $|z|$  及び  $\arg(z)$  を求めよ。

【 解答 】

$$|z| = \sqrt{1^2 + 1^2} = \sqrt{2}$$

ところで、 $z$  を極形式で表すと、 $z = \sqrt{2} \left( \cos \frac{\pi}{4} + i \sin \frac{\pi}{4} \right)$

$$\therefore \arg(z) = \frac{\pi}{4}$$

《 極形式表示はどうやって求めた？ 》

(3) 次の複素数を極形式で表せ

(i)  $1 + i$

(ii)  $-\sqrt{3} + i$

(iii)  $1$

(iv)  $i$

【 解答 】

(i)  $1 + i = \sqrt{2} \left( \cos \frac{\pi}{4} + i \sin \frac{\pi}{4} \right)$

(ii)  $-\sqrt{3} + i = 2 \left( \cos \frac{5\pi}{6} + i \sin \frac{5\pi}{6} \right)$

(iii)  $1 = \cos 0^\circ + i \sin 0^\circ$

(iv)  $i = \cos \frac{\pi}{2} + i \sin \frac{\pi}{2}$

《 (iii) の問題だけ、偏角が度数？ 》

$$(4) \{(x+1)e^{3x-1}\}' = e^{3x-1} + (x+1) \cdot 3e^{3x-1} = \{1+3(x+1)\}e^{3x-1}$$

《  $1+3(x+1)$  でやめずに  $3x+4$  としなさいよ！ 》

(5)  $y = -x^4 + 4x^3 - 4x^2 + 1$  について、増減表を書きグラフを描け。

【解答】

$$y = -x^4 + 4x^3 - 4x^2 + 1$$
$$= -4x^3 + 12x^2 - 8x \dots\dots\dots$$

《 私の頭の中では微分したんです？ 》

$$(6) \lim_{x \rightarrow \infty} \frac{\sqrt{4x^2 - 3x + 1}}{x + 2} = \lim_{x \rightarrow \infty} \frac{\sqrt{4 - \frac{3}{x} + \frac{1}{x^2}}}{1 + \frac{2}{x}} = \pm 2$$

《  $\sqrt{A^2}$  は  $\pm A$  のどちらか不明やけど？ 》

(7)  $\sin x = \frac{3}{5}$  ( $\frac{\pi}{2} < x < \pi$ ) のとき、 $\cos x$  を求めよ。

【解答】

$$\cos 2x = 1 - \left(\frac{3}{5}\right)^2 = \frac{16}{25}$$
$$\therefore \cos x = \sqrt{\frac{16}{25}} = \frac{4}{5}$$

但し、 $x$  は第2象限の角なので、 $\cos x < 0$ 。

$$\therefore \cos x = -\frac{4}{5}$$

《 一度断言しておきながら、後で『実は・・・』なんて、最近のニュースでよく見るような対応！ 》

(8) 無限等比級数  $2 + 3 + \frac{9}{2} + \dots$  の和を求めよ。

【解答】 初項  $a = 2$ 、公比  $r = \frac{3}{2}$ 。  $|r| = \frac{3}{2} < 1$  なので、和を持つ。

$$\text{和} = \frac{a}{1-r} = \frac{2}{1-\frac{3}{2}} = -4$$

《  $\frac{3}{2} < 1$  ? そして、また

正の数ばかりたして負の数が答えになったら変だと思ってくれ！ 》

(9) 無限等比級数  $3 - 2 + \frac{4}{3} + \dots$  の和を求めよ。

【解答】初項  $a = 3$ 、公比  $r = -\frac{2}{3}$ 。  $|r| < 1$  なので、和を持つ。

$$\text{和} = \frac{a}{1-r} = \frac{3}{1 - \left(-\frac{2}{3}\right)} = \frac{9}{5}$$

《 絶対値が負の数？ 部分点やるべきか？ 》